

# 裏切り改良主義と極左自由見主義に対

## 決し、明大三三争の勝利と学生運動の新局

### へ何にまで、如何にまでか？

全土京不都の代表三三争の反共諸君！

社会公土主義者の学生同盟口我部執行委員会

明大三三争に於いて、一部裏切り者集団であつて、  
したがいれば非常事態に際し、我々同盟は、同盟内外  
の事情に分るを出さざること、同時に、明大三三争と全日  
学生運動の主体的地位に部隊であるという二重の意味で  
於いて、二二二の聲援の声明を發するものである。

1. 首謀、大内一派の裏切り行動と我々の態度  
二月二日不明、我々同盟同盟員を前に、全学生一明  
大内執行委員会の決議書がある首謀者大内義男  
を中心とする一部の集団の参加、各校当局との「三三  
値上げ問題」に關する調印書が公表した。

この首一、大内一派の行動は、学生に「空結、調印  
」の内務及完全な裏切行動案への屈服であること、大  
二の裏切り一派の袖断であることを述べ、あるべきに  
「三三」値上げ阻止三三争を申し立てたに全明大、全日  
の学生に對する然らざるを期し行爲である。

我々同盟は、首一、大内一派のこの行動は彼らの袖  
断であり、同盟組織決定に對する公然たる裏切りである  
「三三」値上げ阻止三三争に對しては、

同盟内外の各三三争に對する同盟内外から出た二二二  
が、この全面的に自己を批判するに、首一、大内一派  
の裏切り、直取を行ひ、日本之を結調印無効、値上げ  
案自然全面撤回に要求する全明大、全日の各日の三  
三の先頭に同盟の総力を結集して立つ二二二を誓つたの  
である。

二二二で、如何なる方向に向ひ、同盟、及び現局面の各  
生運動の弱さを克服することである。

2. 首謀、大内一派の裏切り行動の本質は、「組合主  
」及び「改良主義」である。

彼ららの「三三」値上げ「裏切り」される各集団の反共主義  
を、本格的に海外侵略、他民族抑圧、内田全面反共を

## 面を切り開け！

開始して、ある自由主義の体制そのものを切り開  
け、大内の一環として把握し、如何なる自由主義体制への  
全面的な方向に三三争を指し示すのである。自由主義  
は単なる政策、反共の教政策として事態を把握した。  
従つて、この三三争を、反共の教政策反共（反共的）  
ない教育の要（三三争）を歪曲し、各校当局の「三三争  
と教育の分離」という言葉に集り、各校当局の内部  
分裂を利用して「裏切り」を遂行した。

この大内三三争は、二の各校当局の分裂を作り出す  
の手段としての外道行径だった。これは純粋の改良主  
義、組合主義であり、値上げ承認、当局の本之を非  
は必然であった。

首謀、大内一派の裏切りを許して明大三三争の弱處  
は、何れ。

一、五割の積丹集計の上で、1/20、1/25団体（一  
千五百人結果、二千人のメモ）を預託として明大各段  
の値上げに反対する広範な結果が取り戻された。如何  
なる否の三三の前進は、各校当局の対抗と強硬派への  
脅威は、大内一派の行方を見せつけた。

二、フル以降、ドリーパー、多國管理を打つ、内江、この  
うとする各段の結果と各校当局の暴力的な立場（官憲派  
）へ、体育会の立場への持抗関係は、1/30未明の表功  
隊介入、体育会のバーヤ、し、敵対、自己マロに二二  
各校当局へ体育会による強制的な多國管理へと進展した

。この局面で起ける任意の撤退は値上げ阻止の従来の  
明大出陣、全学生同盟委員会の下に結集していた広範な  
大衆の助け、出立的立場への移行、一解散を遂行して進行  
させた。如何なる組織も、早大三三争に於いて、全学生  
三三争に於ける「三三」の「三三」への両極の分解  
の危機をもたらしたものであり、改良主義、首一、大  
内一派を裏切り行へ走りさせた局面でもある。

値上げ反対（合法的権利の主張）

